

平成 29 年 3 月 24 日  
広島電鉄株式会社

## 電車運賃の上限変更認可申請について

広島電鉄株式会社（本社：広島市中区）は、本日平成 29 年 3 月 24 日、国土交通大臣あての鉄道事業及び軌道事業の旅客運賃の上限変更認可申請を中国運輸局にて行いました。

### 1. 申請の内容

#### (1) 申請理由

当社は、広電西広島から広電宮島口の宮島線（鉄道区間）16.1 kmと、広島市内を運行する市内線（軌道区間）19.0 kmを合わせた計 35.1 kmを営業しており、広島市内中心部から西部及び廿日市市方面間の通勤・通学、並びに宮島への観光等の輸送を担っています。

輸送人員については、交通手段の多様化や広島市郊外への大型店舗進出に伴う買い物客の減少等で、輸送人員が伸び悩み、平成 7 年度をピークに減少傾向にあります。

そうした中、高齢化社会の進展に伴い、平成 10 年度より超低床車両を計 32 両・編成を導入し、合わせて、駅・電停施設のバリアフリー化、情報提供システムの整備などハード・ソフト面から旅客の利便性の向上、サービスの提供を図ってきました。また、平成 23 年度から施設の老朽化に係る、安全対策の維持修繕工事を集中的に実施しています。

一方、経年 50 年を超え老朽化した車両（35 両・編成）の代替が急務となっていることから、平成 31 年度までに超低床車両を宮島線で 6 編成、市内線で 4 両を導入するとともに、電停のホーム拡幅、上屋延長するなどバリアフリー化・利便性向上を図ります。更に、IC カードの機能向上を図る施策として、全扉乗降を可能とする車両中扉へ IC 降車読み取り機の設置、車掌台への IC カードのチャージ可能な運賃箱の導入や Suica（スイカ）、PASMO（パスモ）等の全国相互利用 IC カードの利用受入や、電車路線と並行する他社バス路線も利用できる IC カード共通定期券などを実施し、より一層のサービス向上を図っていきます。

これらの設備投資を進める一方、これまで行ってきた設備投資による減価償却費の増や輸送の安全確保に資する修繕費の増加とともに、今後の定年退職者増加による、運転士の欠員補充のために計画的な採用を実施していることから、人件費の増加が見込まれるところです。

今後も、当社の電車が高齢者や障害者は勿論、健常者にも利用しやすい「人と環境にやさしい交通機関」としての役割を担い、輸送の安全確保と更なる利便性・サービス向上を図り、経営の健全化を図るため、運賃の変更について申請するものです。

#### (2) 申請の概要

##### 普通旅客運賃

- ① 鉄道 … 現行運賃の 20 円値上げ
- ② 軌道（本線・白島線） … 現行運賃の 20 円値上げ

##### 定期旅客運賃割引率

- ① 鉄道 通勤定期：40%引（現行どおり）、通学定期：60%引（現行どおり）
- ② 軌道 通勤定期：34%引（現行どおり）、通学定期：51%引（現行どおり）

- (3) 実施予定日  
平成 29 年 8 月 1 日 (予定)

- (4) 増収率一覧

		増収率
定期外		10.9%
定期	通勤	10.7%
	通学	10.9%
	計	10.7%
合計		10.9%

- (5) 申請・現行運賃比較表

【軌道】

普通旅客運賃 (大人)

	現行	申請
本線 (白島線以外の区間)	160 円	180 円
白島線	110 円	130 円

定期旅客運賃 (大人 1 ヶ月)

		現行	申請
本線 (白島線以外の区間)	通勤	6,340 円	7,130 円
	通学	4,710 円	5,300 円
白島線	通勤	4,360 円	5,150 円
	通学	3,240 円	3,830 円

【鉄道】

普通旅客運賃 (大人)

	現行	申請
3 キロまで	120 円	140 円
3 キロを超え 6 キロまで	140 円	160 円
6 キロを超え 10 キロまで	170 円	190 円
10 キロを超え 14 キロまで	190 円	210 円
14 キロを超え 17 キロまで	210 円	230 円

定期旅客運賃 (大人 1 ヶ月)

		現行	申請
3 キロまで	通勤	4,320 円	5,040 円
	通学	2,880 円	3,360 円
3 キロを超え 6 キロまで	通勤	5,040 円	5,760 円
	通学	3,360 円	3,840 円
6 キロを超え 10 キロまで	通勤	6,120 円	6,840 円
	通学	4,080 円	4,560 円
10 キロを超え 14 キロまで	通勤	6,840 円	7,560 円
	通学	4,560 円	5,040 円
14 キロを超え 17 キロまで	通勤	7,560 円	8,280 円
	通学	5,040 円	5,520 円

2. 鉄軌道部門収支の実績及び推定

(単位：百万円)

項目	平成27年度 (実績)	平成29～31年度(3年間平均)	
		現行	申請
収入	6,375	6,371	7,012
支出	6,940	7,159	7,164
差引	▲565	▲788	▲152
収支率	91.9%	89.0%	97.9%

3. 運賃収入内訳

(単位：百万円)

項目	平成27年度 (実績)	平成29～31年度(3年間平均)	
		現行	申請
定期外	5,019	4,883	5,414
定期	891	1,026	1,136
合計	5,910	5,909	6,550

4. 需要の見通し

(単位：千人)

項目	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (推定)	平成29年度 (推定)	平成30年度 (推定)	平成31年度 (推定)	
定期外	43,493	42,875	43,118	42,519	42,259	42,000	41,854	
定期	通勤	8,989	9,802	10,035	10,729	11,288	11,848	12,408
	通学	3,576	3,419	3,445	3,461	3,452	3,442	3,432
	計	12,565	13,221	13,480	14,190	14,740	15,290	15,840
合計	56,058	56,096	56,598	56,709	56,999	57,290	57,694	
対前年度比	101.5%	100.1%	100.9%	100.2%	100.5%	100.5%	100.7%	

5. 設備投資実績・計画

(1) 設備投資実績と計画

(単位：百万円)

項目	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (計画)	平成29年度 (計画)	平成30年度 (計画)	平成31年度 (計画)
安全対策	304	451	552	493	411	386	420
サービス改善等	621	829	570	571	625	1,415	1,284
合計	925	1,280	1,122	1,064	1,036	1,801	1,704

※補助金は含まない

## (2) 主要プロジェクトの内容

### ア. 超低床車両の導入

- ・ 目的 バリアフリー化、老朽化車両の更新のため、超低床車両を継続的に導入（10両・編成）します。
- ・ 効果 バリアフリー化の向上に加え、車両更新による修繕費抑制、車両故障の低減など輸送の安全に資するものになります。
- ・ 金額 2,476 百万円

### イ. 駅・電停の整備

- ・ 目的 バリアフリー化を推進するため、停留場の拡幅、スロープ延長、全長に渡る上屋設置などの電停整備（7箇所）を進めます。
- ・ 効果 安全・快適な電車待ちができるようになります。高齢者、車椅子・ベビーカー等多様なお客様の利便性が向上します。
- ・ 金額 272 百万円

### ウ. 車掌台運賃箱更新

- ・ 目的 ICカードの利便性向上のため、連接車（27編成）の車掌台にチャージ可能な運賃箱を整備し、車内でのチャージ可能箇所を2カ所から4カ所に倍増します。
- ・ 効果 チャージ可能箇所が増え利便性が向上する他、降車時のチャージ対応も可能になり、円滑な運行につながります。
- ・ 金額 68 百万円

### エ. ICカードセンターシステムの改修

#### ① 全国共通利用カードの利用受入

- ・ 目的 Suica（スイカ）、PASMO（パスモ）等全国で相互利用されているICカードを利用できるようにします。
- ・ 効果 全国で相互利用されている主要なICカードが利用できるようになり、広島を訪れる旅行者に限らず、お客様全体の利便性が向上します。
- ・ 金額 21 百万円

#### ② ICカード共通定期乗車券の導入

- ・ 目的 電車路線と並行する他社バス路線も共通利用できる定期券を発売します。
- ・ 効果 事業者を超えた選択肢の拡大や待ち時間短縮など利便性が向上します。
- ・ 金額 57 百万円

### オ. ICカード利用全扉乗降化工事の実施

- ・ 目的 ICカード利用のお客様が全扉から乗降が可能になるよう、車両中扉へIC降車読取機を設置します。
- ・ 効果 ICカード利用のお客様がすべての扉で乗り降りができるようになることで、車内混雑が平準化され、乗降が各扉に分散することにより、快適性や速達性の向上が図られます。
- ・ 金額 76 百万円

## 6. これまでの経営合理化の状況及び今後の取り組み

人件費関係では、平成 13 年には契約社員制度を導入し年俸制に近い賃金体系とし人件費抑制を図りました。その後非正規乗務員の正社員化に当たり、職種別賃金制度を導入し勤続年数に応じた賃金制度を是正しました。

退職金制度では、平成 11 年からは退職金調整率を導入し退職給付金を圧縮した他、平成 21 年には退職金制度を変更し、従来の最終給与に比例した制度から、職種ごとに単価を積み上げる方式に改め将来的な人件費の抑制につながる制度にしました。

## 7. 運賃・料金の多様化の内容

### 【企画乗車券等】

- ・ どっちもバス：バス定期に 1 ヶ月当たり 500 円もしくは 1000 円の追加で、並行する電車に乗ることができる定期券で、電車バスにとらわれず利用することができ好評をいただいております。
- ・ シルバーバス：65 歳以上のお客様を対象に、市内電車全線や鉄軌道全線などを利用できる定期券で、割安に広島市内を移動できることから好評を得ております。
- ・ 広島ピースパス：従来の電車一日乗車券に広島都心部の 6 社のバスにも乗車でき、公共交通を利用して広島観光ができるよう利便を図っています。

## 8. 利用者サービスの向上策

### (1) 超低床車両の導入

鉄道、軌道ともに超低床車両の導入を進め、老朽化した車両を更新しバリアフリー化を進めます。

### (2) 電停のバリアフリー化

ホーム幅が広く全長に屋根のある電停整備を行い、バリアフリー化を図ります。

### (3) 大型電車の車掌台にチャージ可能な運賃箱を設置し利便性を向上します。

### (4) IC カードの利便性向上 現在電車でも利用できる PASPY (パスピー)、ICOCA (イコカ) 以外に、Suica (スイカ)、PASMO (パスモ) 等全国で相互利用されている IC カードが電車でも利用できるようになり、より利用しやすくなります。

### (5) IC カード利用全扉乗降化工事の実施

IC カード利用のお客様がすべての扉で乗り降りができるようになることで、車内混雑が平準化され、乗降が各扉に分散することにより、快適性や速達性の向上が図られます。

## 9. 情報へのアクセスについての情報

### (1) 運賃改定申請に関するお問い合わせ先

電車企画課 運賃担当 電話 082-242-3551 (営業時間 平日 9:00~17:45) ※土日祝休み

### (2) 運賃、時刻等に関するお問い合わせ先

広電電車バステレホンセンター (ナビダイヤル)

電話 0570-550700 (営業時間 平日 9:00~17:45) ※土日祝休み

### (3) 広島電鉄ホームページ

アドレス <http://www.hiroden.co.jp/>

この資料に関するお問い合わせ先

広島電鉄株式会社

電車事業本部 電車企画部 電車企画課 運賃担当

電話 082-242-3551

(営業時間 平日 9:00~17:45) ※土日祝休み